

# ノズル

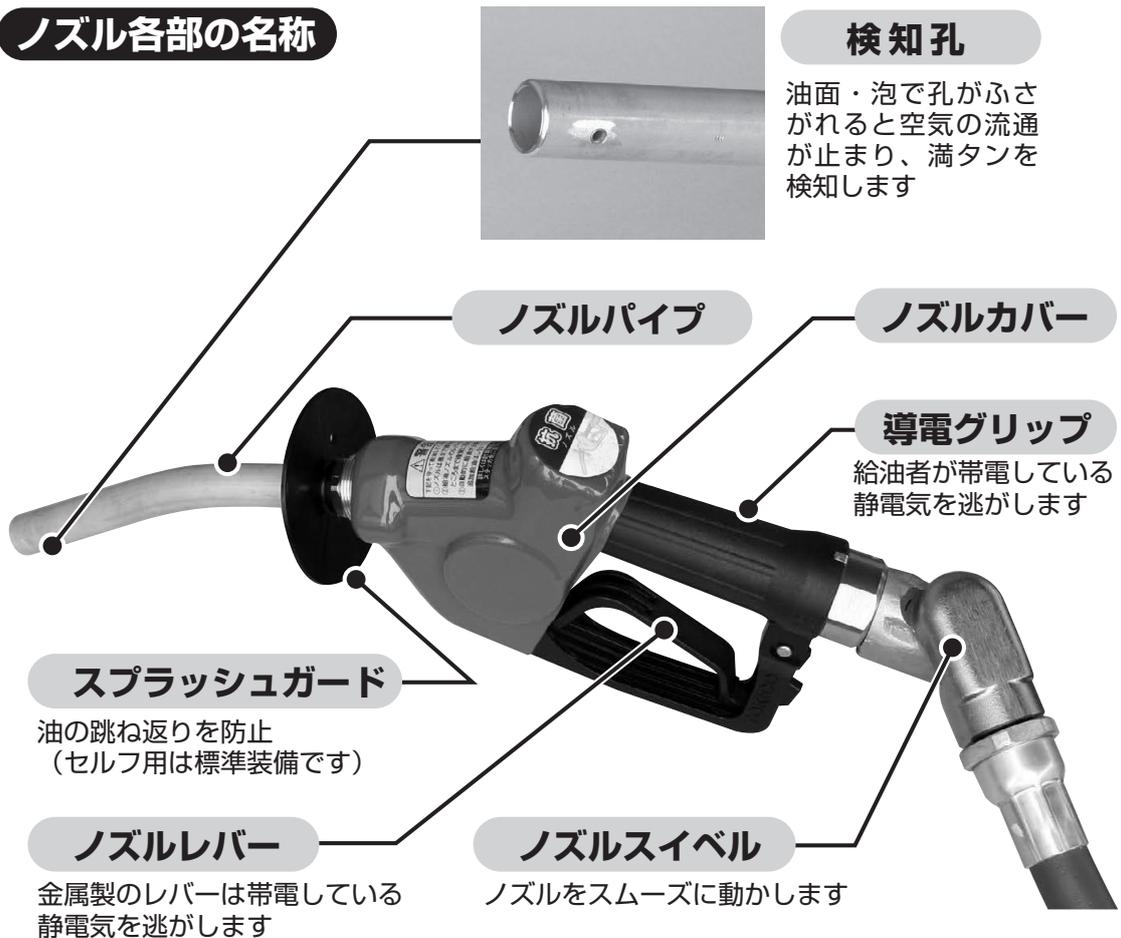
## ノズルの点検

ノズルはノズルパイプ先端の検知孔が満タン油面や泡でふさがると空気の流れが遮断されたことを検知しノズル内部の弁を閉め、油の吐出を止めるオートストップ機能を内蔵しております。

落下などでノズルパイプが変形したり、検知孔がつぶれると油面検知ができず、油が流出することがあります。

また、油の跳ね返りを防ぐスプラッシュガードや給油者が帯電している静電気を逃がす導電グリップなど重要安全機能も備えていますので、常に点検し清掃くださるようお願いいたします。

### ノズル各部の名称



軽油用油タレ防止付  
スプラッシュガード



ベーパーカバリ  
ブーツ

## ノズルの点検方法と交換の目安

目視にて次の部位を点検してください。



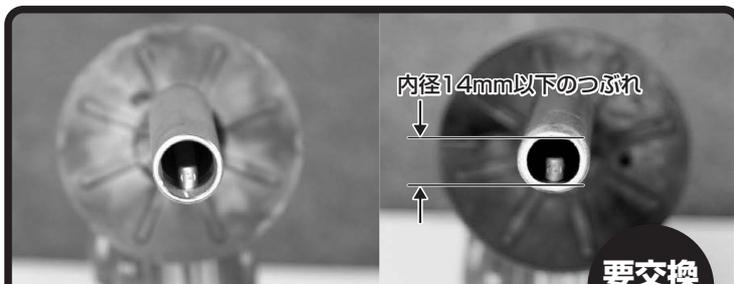
落下などによりカバーが破れて本体に損傷があると油のにじみや作動不良の恐れがあります



レバー枠が損傷しているとノズルレバーの作動が悪くなる恐れがあります



検知孔がつぶれたりつまっているとオートストップ作動が悪くなります



ノズルパイプがつぶれるとオートストップ作動が悪くなります



導電グリップが損傷したり、はがれると静電気の除去ができません



スプラッシュガードが損傷変形すると油の跳ね返りが防止できません



ノズルカバーが破れると車に傷を付ける恐れがあります



ベーパーリカバリーブーツが損傷しているとベーパー吸引が悪くなります

## ノズルの交換について

ノズル本体は消耗品となっております。給油回数やお取扱状況により異なりますがご使用後5年を目安に、また導電グリップは3年を目安に交換をお奨めします。